



芳滝 仁 議員
(拓政会)

問

町が出資等を行い、町政と極めて密接な関係を有している財政関与団体の事業について現状の課題と今後の対応を伺う。

(1)幕別町地域振興公社(ゴルフ場)は健全な運営がなされているが、ゴルフ人口の減少が進むことを考える時、町としての協力を強化すべきだがどうか。

(2)㈱忠類振興公社(アルコ236・道の駅)の業務改善はどのように進んでいるのか。特に職員待遇の改善・管理の徹底をまず行うべきと考える。町として早急に指導すべきだ。また、忠類インター開通に向けた取り組みも町と一体となって進めるべきだ。

(3)NPO法人まくべつ町民芸術劇場(百年記念ホール)の一昨年の不適切な運営の処理以後の運営改善について伺う。また、現状の事業運営の評価について伺う。今後、NPO法人を一般財団法人に移行し経営の安定を図るよう指導すべきだと考えるがどうか。

(4)青葉保育所は保護者アンケート

問 財政関与団体に対する町の対応と今後について

答 経営内容等を注視しながら指導や支援を行っていく

を見てもその事業は高く評価されているが、今後の青葉保育所のあり方について伺う。

町長(1)若者のゴルフ離れが進行している中であって、平成7年度の年間入場者数4万6019人をピークに減少傾向にあるが、18年度以降は、ほぼ3万人を維持している。今後においても、町民の財産である株式の資産価値を減耗させることのないよう、札内川ゴルフ場の健全な経営に向け、筆頭株主としての責任を果たしていきたい。

(2)業務改善計画においては、燃料の調達方法の変更をはじめ、職員待遇の改善、温泉熱効率の見直し、新商品の開発など多岐にわたった改善内容が盛り込まれ、自主的な経営改善の促進が図られる内容であると判断したところである。

本年は、開館20周年の年であり、地域との共同によるコンサート開催や、ボランティア応援隊の結成による環境整備など、忠類振興公

社の運営を応援する気運も高まり、7月末現在の売り上げは前年同月と比較して8・2%伸びているほか、経費の削減に努めることにより、このまま順調に推移すれば収支バランスが回復する傾向にあるものと判断している。

アルコ236と道の駅忠類は、幕別町の南玄関口としての観光の核であるとともに、地元経済の牽引役を担っている重要な施設であり、今後も経営の内容を注視しながら指導や支援を行っていきたい。

教育長(3)運営改善については、就業規則遵守の徹底を図るとともに、事業実施に伴う経費の支払いを口座振替により行うこととしたほか、事業の担当をこれまでの1事業1人担当制を改め、複数の職員がかかわることで相互牽制が作用する体制に改められている。

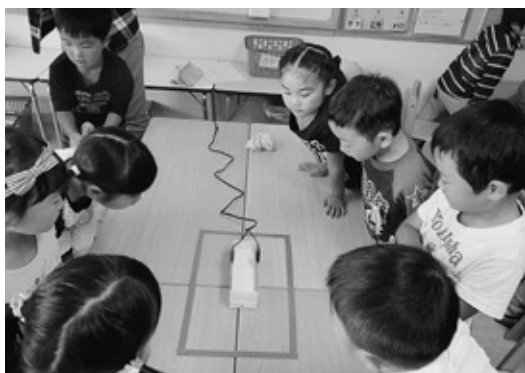
また、役員及び職員の体制について刷新が図られ、現在は、新たな執行体制のもと、適切に管理・運営されているものと判断しており、今後も、指定管理者として適

切な管理運営を行っていくよう必要な指示をしていきたい。

立場上、法人形態がどうあるべきかは発言できないが、一般財団法人に向けた内部検討をされているということは聞いている。

町長(4)指定管理で社会福祉法人温真会が運営しており、「午後7時までの延長保育」「障害児保育」「病後児保育」などが適正に行われており、「キッズスポーツ」、「キッズサイエンス」などの独自事業も保護者から高く評価されている。

今後は、契約の終期となる平成28年度まで質の高い保育サービスを安定的に提供してもらえよう、町と事業者が連携を図りながら協力し、取り組んでいきたい。



科学的な好奇心を養う目的で月1回実施「キッズサイエンス」